キャラクター名: アテナ・アイナロクエン

プレイヤー名:

種族	エルフ	**種族特徴**	暗視、剣の加護/優しき水		
生まれ	神官	**性別**	女	**年齢**	18
冒険者Lv	11	**経歴**	溺れたことがある		
経験点	480		特定の異種族を好んでいる		
			のめり込む趣味がある		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	9	**器用度**	9	7		25	4
		敏捷度	10	2		21 + 1	3
体	5	**筋力**	5	1		11	1
		生命力	7	11		23	3
心	12	**知力**	11	6		29 + 2	5
		精神力	11	13		36	6

技能	Lv.	技能	Lv.
プリースト/キルヒア	11		
スカウト	4		
レンジャー	1		
セージ	5		

戦闘特技			
ルーンマスター	IB34 p		p
鋭い目	2120p		p
魔法拡大/数	226 p		p
魔法誘導	IB32 p		p
武器習熟A/スタッフ	IB31 p		p
クリティカルキャスト	IB36 p		p
MP軽減/プリースト	IB33 p		p
キャパシティ	IB29 p		p
	p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
エルフ語	○	○
巨人語	○	
交易共通語	○	○
汎用蛮族語	○	
魔神語	○	
魔動機文明語		○
妖精語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術	

名誉アイテム	点数

名誉点 所持 731 /合計 731

技能

	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾

		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	マナコート		1		5
盾	ラウンドシールド		8		1
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能		合計値		0	6

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
マナスタッフ 魔力+1、魔法の武器	2H	3	1	2d+ 1	12	1	13										
				2d+													
				2d+													

一般装備品 (消耗チェック)

保存食（一週間）x5	○□□○□□
魔晶石５点x15	○□□○□□
冒険者セット	○□□○□□
スカウト用ツール	○□□○□□
魔香草x10	○□□○□□
	○□□○□□

	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□

所持金 17108 G

預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	22 m	66 m

回避	防護点
2d+ 0	6

HP
56

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 10	2d+ 7

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 14	2d+ 17

MP
84

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	11	17			

装備品		説明
頭	女神のヴェール	回復魔法がクリティカルする
耳		
顔		
首	キルヒアの聖印	
背中		
右手	叡智の腕輪	
腰		
足		
その他	疾風の指輪	

装備品		説明
左手	マナリング	魔法D+1

その他メモ

父は偉大な戦士だった。母は高名な魔道士だった。だから、アテナは物心ついた時から、自分もいつかは立派な冒険者になるんだと決めていた。
しかし、現実が残酷だと知ったのは、６歳の時。コボルトをいじめている年上の子供をこらしめようとして、返り討ちに遭ったのだ。いや、返り討ちとも言い難い。彼女は軽く突き飛ばされただけで１ｍ近く吹き飛び、地面に頭をぶつけて気絶してしまったのだから。
アテナは、それを何かの間違いだと信じていた。信じたかった。
しかし、父に剣の稽古をつけてもらおうとしたのに、そもそも剣が重すぎて持てなかったり。
川に修行をしにいったらエルフなのに急流に流されて岸に上がれなくなり、夕方まで助けを待つハメになったり（衰弱しきっていたので瀕死の危機だった）。
いじめられっこのコボルトを鍛えようとして逆に負けたり・・・。
何度も治療のために運び込まれたキルヒア神殿で「バカなことはもうやめなさい」「人には向き不向きがあるんだから」と諭され、頑固だった彼女の心も、１４歳になる頃には折れかかっていた。

自動失敗チェック

□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟